



仙台=大阪(伊丹)線は就航30周年 ～感謝の気持ちを込めて、仙台空港にて記念イベントを実施～

JALは、2022年7月18日(月)に、仙台=大阪(伊丹)線で就航30周年を迎えます。
当該路線は1992年に日本航空がボーイング767型機にて1日1往復で運航を開始し、現在ではJ-AIRのエンブラエル190型機・170型機にて毎日8往復運航し、利便性が大きく向上しております。

仙台空港に就航して30年の長きにわたり皆さまにご支援・ご利用いただき、この大きな節目を迎えることができました。その感謝の気持ちを込めて、仙台空港にてイベントを実施します。
イベントでは、セレモニー対象便にご搭乗のお客さまに、宮城県岩沼市、名取市からご提供いただいた観光パンフレットや、JALオリジナル記念品を進呈します。

JALはこれからも伝統を大切にしながら、地域に密着しお客さまにより喜んでいただけるサービスの提供と、世界で一番お客さまに選ばれ、愛されるエアライングループを目指して、チャレンジを続けてまいります。

【イベント概要】

日付：2022年7月18日(月・祝)
場所：仙台空港 2階出発フロア 搭乗ゲート前
対象便：JL2204便 (11:20出発)
内容：

- ・名取市マスコットキャラクター「カーナくん」と、就航当時の制服を着用した客室乗務員とのフォトスポット設置
- ・搭乗口で特別アナウンス
- ・ご搭乗のお客さまへ記念品進呈 (宮城県岩沼市・名取市の観光パンフレット
JALオリジナルポータブルストロー、JALオリジナルバゲージタグ)



名取市マスコットキャラクター
「カーナくん」



JAL7代目客室乗務員制服
(イメージ)



記念品：JALオリジナルポータブルストロー



記念品：JALオリジナルバゲージタグ